事業番号 0709

平成２９年度行政事業レビューシート（ 厚生労働省 ）

事業名	戦傷病者福祉事業		担当部局庁	社会・援護局	作成責任者
事業開始年度	昭和４７年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	援護企画課	鯨井　佳則
会計区分	一般会計				
根拠法令（具体的な条項も記載）	−	関係する計画、通知等	平成29年度戦傷病者福祉事業助成委託費の交付について（平成29年3月31日厚生労働省発社援0331第12号）		
主要政策・施策	−	主要経費	恩給関係		
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を次世代の人々に伝えることを目的とする。				
事業概要（5行程度以内。別添可）	戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦に係る資料及び情報を収集し、保存し、展示することにより、次世代にその労苦を伝えることを目的とする「しょうけい館」を運営する。				
実施方法	委託・請負				

予算額・執行額（単位：百万円）

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求
予算の状況	当初予算	158	182	180	176	
	補正予算	−	−	−	−	
	前年度から繰越し	−	−	−	−	−
	翌年度へ繰越し	−	−	−	−	
	予備費等	−	−	−	−	
	計	158	182	180	176	0
執行額		157	182	180		
執行率（％）		99%	100%	100%		
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		99%	100%	100%		

平成29・30年度予算内訳（単位：百万円）

歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由
遺族及留守家族等援護事務委託費	175.7		
庁費	0.1		
諸謝金	0.1		
委員等旅費	0.1		
計	176	0	

成果目標及び成果実績（アウトカム）

定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 − 年度	目標最終年度 29 年度
平成29年度にしょうけい館の来館小中学校数を前年度以上にする	しょうけい館の来館小中学校数	成果実績	校	27	38	36	−	−
		目標値	校	26	27	38	−	36
		達成度	％	103.8	140.7	94.7	−	−

根拠として用いた統計・データ名（出典）	しょうけい館年報用基礎データ

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込
しょうけい館における広報資料の小中学校への送付箇所数	活動実績	箇所	60	122	144	−	−
	当初見込み	箇所	155	60	122	144	

単位当たりコスト

算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込
しょうけい館の運営に係る執行額／しょうけい館の入館者数	単位当たりコスト	円	1,287	1,229	1,524	1,489
	計算式	X/Y	157,122,000/122,067	181,229,000/147,450	179,886,000/118,056	175,781,000/118,056

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係

政策評価

政策	戦傷病者・戦没者遺族等への援護、戦没者の遺骨の収集等を行うこと（Ⅶ－３）						
施策	戦傷病者、戦没者遺族等に対して、援護年金の支給、療養の給付等の援護を行うこと（Ⅶ－３－１）						

測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標年度 29 年度
	しょうけい館の入館者数	実績値	人	122,067	147,450	118,056	－	－
		目標値	人	107,105	134,274	147,450	－	118,056

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦に係る資料及び情報を収集し、保存し、展示することにより、次世代にその労苦を伝えることを目的とする「しょうけい館」を運営する。
資料・情報の収集や企画展の実施を通し、来館を促進し、より多くの人々に戦中・戦後の労苦を知る機会を提供することにより、戦傷病者等の援護に寄与する。

経済・財政再生アクション・プログラム

改革項目	分野：	－	－

	KPI（第一階層）		単位	計画開始時 － 年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
KPI（第一階層）	－	成果実績	－	－	－	－	－	－
		目標値	－	－	－	－	－	－
		達成度	%	－	－	－	－	－

	KPI（第二階層）		単位	計画開始時 － 年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
KPI（第二階層）	－	成果実績	－	－	－	－	－	－
		目標値	－	－	－	－	－	－
		達成度	%	－	－	－	－	－

本事業の成果と改革項目・KPIとの関係

－

事業所管部局による点検・改善

	項　目	評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、戦傷病者等の労苦を次世代へ継承することを目的としており、戦後71年が経過した平成28年度においても、引き続き来館小中学校数は安定しており、社会のニーズを的確に反映している事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業の目的である戦傷病者等の労苦を次世代へ継承することは国の責務であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	戦傷病者等の労苦を次世代へ継承するため、しょうけい館運営事業は必要であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	本事業は、「戦傷病者福祉事業助成委託費交付要綱」に基づき、株式会社ムラヤマに委託しているが、委託に際しては、企画競争を採用するとともに外部有識者の意見も参考とし、委託先としてふさわしいか審査した上で決定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	入場料を徴収していないが、施設の性格に鑑み、妥当と考える。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	実績を元に必要最小限の予算計上に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	－
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本事業は、しょうけい館運営事業費となっており、必要費目に限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	－
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	－
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	－
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	概ね見込みどおりの実績となっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業では、戦傷病者等の労苦を次世代に伝えるための展示施設を運営し、多くの入館者数を集めていることから実効性の高い手段となっている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね見込みどおりの実績となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	戦傷病者等の労苦を次世代に伝えるために十分に活用されている。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	－
	所管府省名	事業番号	事業名	

点検・改善結果		
	点検結果	本事業については、活動実績、成果実績ともに概ね見込みどおりに実施しており、予算規模、支出もそれに見合った適正なものとなっている。引き続き、戦傷病者等の労苦を次世代へ継承するための事業を行っていく必要がある。
	改善の方向性	本事業については、適切に予算を執行し、わずかながら事業の目標を下回っているものの概ね達成できており、このまま継続して事業を実施する。

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

－

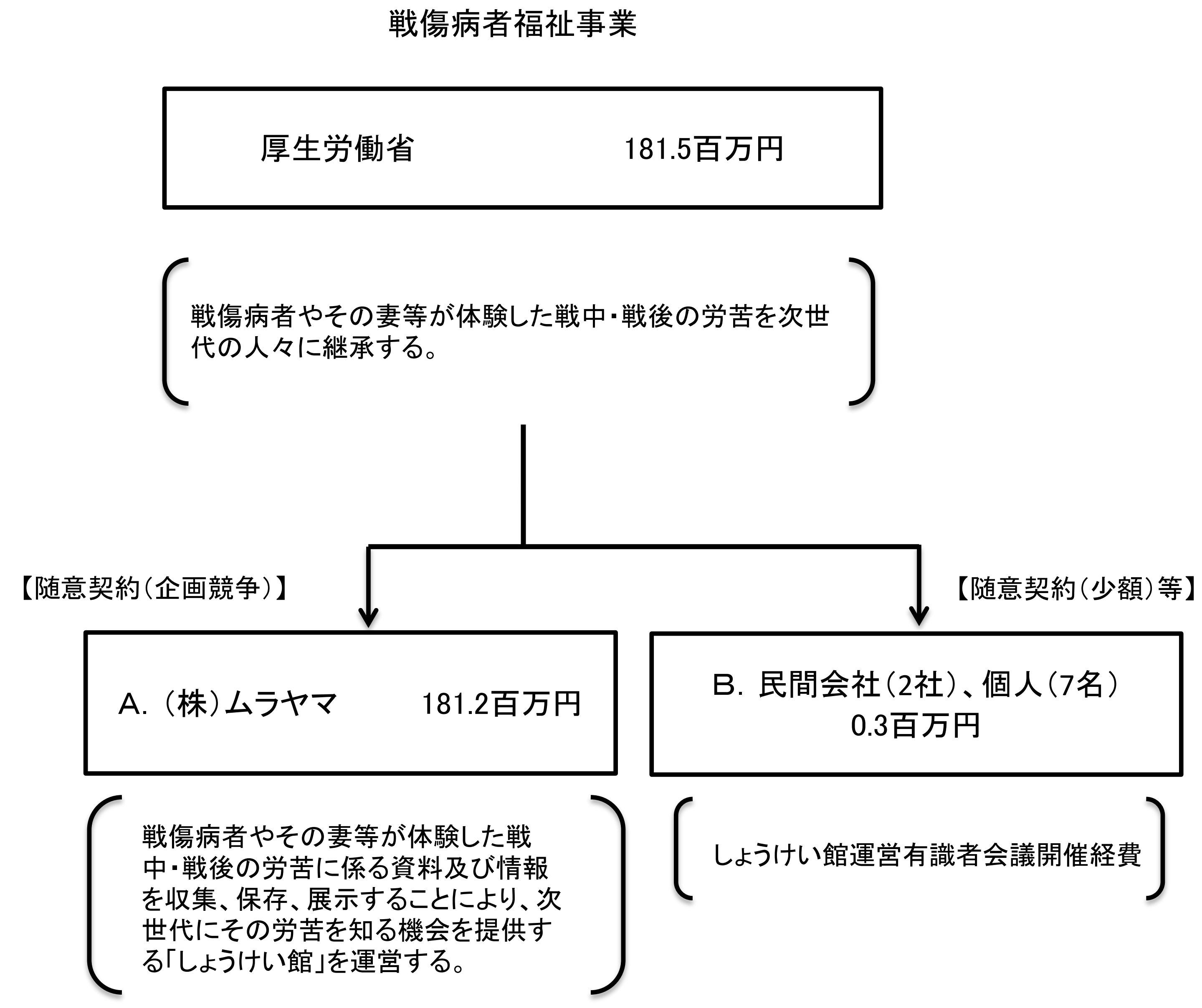
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	457	平成23年度	415	平成24年度	361
平成25年度	726	平成26年度	724	平成27年度	740
平成28年度	707				

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

（集計中のため、平成27年度実績）



費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.（株）ムラヤマ			B.百万円を超える支出が無いため省略		
	費　目	使　途	金　額 （百万円）	費　目	使　途	金　額 （百万円）
	事務費	しょうけい館の運営に必要な印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、借料及び損料等に係る経費	100			
	人件費	しょうけい館の運営に係る職員給与等に係る経費	46			
	事業費	しょうけい館の展示事業に必要な文献資料等購入費、証言資料収集費、資料保存管理費等に係る経費	35			
	計		181	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	（株）ムラヤマ	5010001007765	戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を次世代の人々に伝えることを目的とする施設「しょうけい館」の運営を行う	181	随意契約 （企画競争）	4	100%	−

B

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	（株）ホテルグランドパレス	2010001029119	しょうけい館運営有識者会議に係る会場借上	0.1	随意契約 （少額）	−	100%	−
2	社会福祉法人　日本盲人職能開発センター	7011105003681	しょうけい館運営有識者会議に係る速記料	0.1	随意契約 （少額）	−	100%	−
3	個人A	−	しょうけい館運営有識者会議	0	その他	−	−	−
4	個人B	−	しょうけい館運営有識者会議	0	その他	−	−	−
5	個人C	−	しょうけい館運営有識者会議	0	その他	−	−	−
6	個人D	−	しょうけい館運営有識者会議	0	その他	−	−	−
7	個人E	−	しょうけい館運営有識者会議	0	その他	−	−	−
8	個人F	−	しょうけい館運営有識者会議	0	その他	−	−	−
9	個人G	−	しょうけい館運営有識者会議	0	その他	−	−	−

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ﾌﾞﾛｯｸ名	契　約　先	法　人　番　号	業　務　概　要	契約額 （百万円）	契約方式	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 （契約額10億円以上）
1		−	−	−	−		−	−	−